

日本一の樹根太鼓を後世に受け継ぐ  
津島太鼓集団 雅

地域で鳴らす「雅」な音色で  
聴く人の「ココロ」とつながる。



津島太鼓集団 雅は、樹齢約900年の大楠からなる樹根太鼓「津島平安太鼓」の継承と太鼓を通じた人づくり、まちづくりを目的として、平成14年に津島やすらぎの里オーブンに合わせて活動を開始し、4月で結成20年を迎えます。

メンバーは高校生から60代といった幅広い年齢層で、地域の太鼓団体「北灘漁火太鼓」で活動していた現代表の寺坂 倅士朗さんも、高校生のときから雅のメンバーとして参加しています。また、雅のメンバーやOBが地域の団体を指導しているそう、太鼓を通じて世代を超えたつながりが生まれています。

コロナ禍前は、津島分校チアリーダー部と一緒に地域のイベントに出演するなど年間50回以上の演奏機会があったそうですが、現在はほとんど無くなっていると言います。寺坂さんは「リモート出演もしたけれど、太鼓はやはり生演奏に限る。地域とともに育った太鼓の音色を、たくさんの方の「ココロ」に届けて、太鼓の楽しさを伝えたい。また支えてくれる地域への感謝を忘れず、太鼓を通じて生まれるつながりを大事にして、地域の未来につなげたい」と力強く話してくれました。